

裏庭の赤い実に寄って来るメジロやヒワ。春がそこまで来ている弥生三月です。

我が家はさながら自然観察公園内にあるかのよう。メジロ、ヒワだけでなくヒヨドリ、ヤマガラなどの野鳥、群れからはぐれたニホンザル、先日は天然記念物のニホンカモシカが笹を食べている姿を間近に見ることができました。もっともこんな事我が家だけでなく、東白川村では当たり前のことですが、何かほっこりと癒されます。反面、野生動物の獣害も頭をよぎることは立場上辛いところです。

今回の第6波で感じられたことは皆様それぞれでしょうが、私はBCP(注釈)といわれる事業継続のための計画の重要性を強く感じました。感染症の発症だけでなく陽性判定、濃厚接触ということで入院や自宅待機を余儀無くされた場合、その人の役割をカバーできる人材の育成が急務と考えます。

各事業所、団体、御家庭でも、規模は違えども万が一の事を話し合っておく必要性を強く感じました。

皆様の生活を守らなくてはならない行政にあってはなおのこと。一日の停止も許されませんので、緊張感を持って臨むよう指示しているところです。

今や誰が感染してもおかしくない状況の中、不運にも感染しそれぞれの日常生活を自粛という形で過ごさざるを得なくなったことに責任を感じられる方があるかもしれませんが、決してその人の責任を問うものではなく感染防止のための当たり前の措置であることをお互いに理解することが必要と考えます。

そんな中、毎日、テレビや新聞報道を見ているとコロナ禍により歪んだ人間の一面がクローズアップされるような事件が多い世相です。コロナによる誹謗中傷もその一つですが、村内ではこれほどの感染があつたにも関わらず大きな混乱も無く、これもまた安堵しています。皆様の温かい心に感謝です。

先月の広報でお伝えしたように、新成人に村の魅力を問うたところ 28名の内、ほとんどの人が「自然が豊かなことと、人が温く、優しいところ」と答えてくれています。若者たちの夢を壊さない村で在りたいものです。

「冬来たりならば 春 遠からじ」

皆様がコロナに負けることなく健やかに4月を迎えられますよう祈っております。

令和4年3月

東白川村長

※ BCP(Business continuity plan) : 事業継続計画のこと